

目的 各種のウィグ用合織素材の物理的性能について調べ、ウィグのモッパる消費性能特性と関連づけを検討する。

方法 試料はマクリル(A)2種, アクリル系(A系)2種, ポリアロピレン(PA)1種, ポリ塩化ビニル(PVC)3種, ポリクラール(PCA)1種, 人髪(H)1種の計10種類である。ウィグ用合織の消費性能特性としては、力学的特性(引張り・結節・引掛強伸度, ヤング率, 伸長弾性回復率など), 表面特性(光沢, 色相, セツ係数など), 外観特性(セツ性, 収縮, スタイル保持性, 耐変退色性など), 衛生的特性(吸水性, ムレにくさなど), 安全的特性(防炎性など)であり, これらに関連する数項目の物性について行った。

結果 ①. 強さでは引張り強力よりも結節より引掛強力が重要であり, 節やからまりが去れた時切断した方が処理しやすいから結節・引掛強力は小さいことが望ましい。そのための断面の非円形化やヤング率の向上させたいのがみられる。②. 伸長弾性回復率はPPがすぐれ, 他は5%伸長まではほぼHと同程度であるがそれ以上では低下する。③. 粗面化加工により正反射光を減少させれば近い光沢をもつものが多い。また静マサツ係数はHより大きいものが多く, スタイル保持性に効果があると思われる。④. 乾熱収縮は同類ないが, 熱水収縮は大きい。しかし, 50°C温湯ではほとんど収縮しない。⑤. 熱セツ性は80~100°C5分間が効果的であるが, 熱セツの保持率はPCAとAを除いて低い。